

## 岩手県環境基本計画における目標値の設定について

## 1 概要

岩手県環境基本計画（以下「環境基本計画」という。）に掲げる指標のうち、目標値の設定を見送っていた3指標について、目標値を設定するもの。

- アスファルト・コンクリート再資源化率
- コンクリート再資源化率
- 建設発生木材再資源化等率

## 2 経緯

上記3指標は、環境基本計画第3章「施策の方向」第2節「循環型社会の形成」に関する県の施策を分かりやすく県民に伝える指標<sup>※1</sup>として設定しているところである。

今般、環境基本計画の目標値を定めるに当たって従前から参考としてきた国の計画<sup>※2</sup>における目標値が示されたことから、環境基本計画における指標の目標値を改めて設定するもの。

※1 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（「建設リサイクル法」）において、分別解体や再資源化等が義務付けられているもの。本県で排出される建設系廃棄物の9割以上を占めている【参考1】。

※2 「建設リサイクル推進計画2014」及び「東北地方における建設リサイクル推進計画2016」

## 3 目標値

指標名	目標値 <sup>※3</sup>	実績値 <sup>※4</sup>
アスファルト・コンクリート再資源化率	<b>99%</b>	99.7%
コンクリート再資源化率	<b>99%</b>	99.6%
建設発生木材再資源化等率	<b>95%</b>	90.4%

※3 国の計画と同じ数値

※4 平成24年度建設副産物実態調査結果【参考2】

## 4 進行管理

建設副産物の再資源化率等に関する全国調査の結果に基づき、達成度等の評価を行う。

【参考 1】本県の産業廃棄物の排出状況（岩手県：平成 24 年度産業廃棄物実態調査結果）

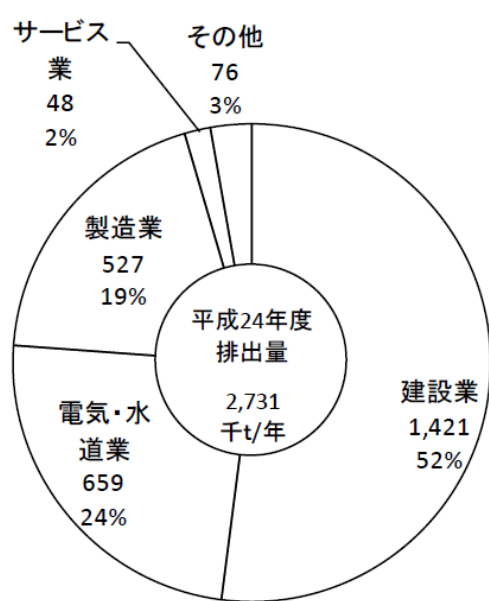


図 1 産業廃棄物の業種別の排出量

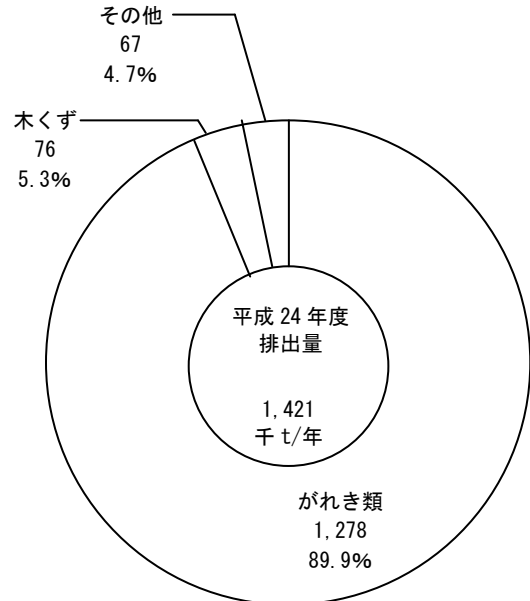


図 2 建設業における産業廃棄物の種類別の排出量

【参考 2】本県の建設副産物のリサイクル状況（国土交通省：平成 24 年度建設副産物実態調査結果）

	再資源化等率
建設廃棄物全体	93.6%
アスファルト塊	99.7%
コンクリート塊	99.6%
建設発生木材	90.4%
建設汚泥	72.6%
建設混合廃棄物	13.6%

※建設工事合計（公共土木、民間土木及び建築工事の計）の搬出量ベースの再資源化等率である。  
※国交省リサイクルHPより抜粋  
※建設発生土を除く。